

市立

1989年(平成元年)10月1日発行

市川自然博物館

創刊号 だより



10月24日
いよいよ開館!!

<ごあいさつ>

このたび、本市で3館目の博物館として、「市立市川自然博物館」が平成元年10月24日、市川市大町 284番地(大町公園動植物園内)に開館することになりました。

この博物館は、常設展示では「市川の自然」をテーマに、また、開館を記念しての特別展示では「市川の植物」をテーマにして展示いたしました。さらに国際コーナーでは、本市の友好都市あるいは姉妹都市から寄せられた、珍しい標本類を展示し、皆様方に楽しく見学していただけるよう心がけました。

当館では、ふだん見過ごされがちな「身近な自然」の再発見の手がかりとして、展示をご覧いただくことを通じて、ご来館下さった方々のお役に立てれば幸に存じます。

「市川の自然」

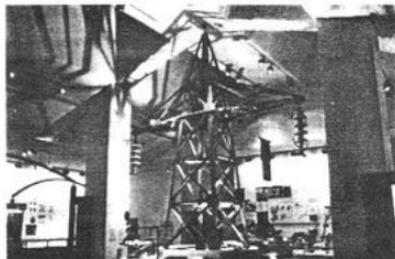
自然博物館では、皆さんの身の回りで観察することができる身近な「市川の自然」を4つの大きなテーマにわけて常設展示で紹介しています。

●第1テーマは「市川のおたち」

現在の市川の自然を観察するための基礎として、『ひろがる市街地』では、人間の影響による昔と今の自然の変化を解説し、市街地に残るクロマツの並木を紹介しています。『市川の大地』では、市川の地形と地質を解説し、大地の成り立ちについて紹介しています。

●第2テーマは「残された市川の自然」

都市化が進むなかで、市内に残る自然を再発見します。『市川の水』では、身



近な林で生きる動物や植物を、模型や標本で紹介しています。『市川の手』では、干潟でくらしている生物について、模型や標本、映像等で紹介しています。

●第3テーマは「都市化した市川の自然」

都市化が進み、おおぜいの人々がくらす市街地で、いきいきと生活する身近な生き物について紹介しています。『帰化

自然博物館では、年2回、夏休みと冬休みに特別展を実施する計画をたてています。テーマは2つで、市川 開館記念特別展 市内の自然豊かな場所の紹介と、市川で見られる生物の紹介です。

●平成2年度

大町自然観察園の自然
／市川の鳥類

●平成3年度

江戸川放水路の自然
／市川の昆虫

●平成4年度

柏井雑木林の自然
／市川の哺乳類

今年度は開館記念特別展で、「市川の植物」です。市川は古くから植物研究が盛んだっ

市川の植物

たところで、これまでに、さまざまな調査や研究が行われてきました。それらの成果をふまえ、ここ数年間の自然博物館のための集中的な活動によって得られた多くの資料を用いて、市川の野生植物について展示し解説していきます。展示物は、自然博物館が収集している4,000点を越すさ

く葉標本（押し葉標本）の中から選んだ150点余りの標本で、羊歯植物から単子葉植物まで、

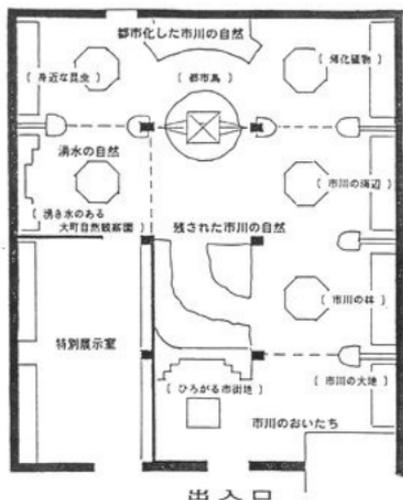
植物の分類に従った形で展示していきます。また、あわせて出版する特別展資

料は、最新版の市川市植物目録となっており、これまでに市内で記録された950種余りの植物をすべて記載しています。

自然について記録し人々に伝えることは、博物館の重要な仕事です。特別展「市川の植物」は、市川の野生植物について現時点で集大成した展示です。

☆ ☆ ☆

がテーマです



植物』では、身近な雑草のほとんどが、外国から渡来し定着した植物であることを紹介しています。『都市鳥』では、都市の環境に適応してたくましく生きる野鳥について、また『身近な昆虫』では、庭や公園など身の回りで見られる昆虫を紹介しています。

●第4テーマは「湧水と大町の自然」

湧水によってうるおう大町自然観察園を紹介し、四季おりおりの観察の見どころを案内します。

☆自然博物館では、見たり聞いたり触れたりしながら、「市川の自然」に親しんでいただけるよう展示しました。皆さんも身の回りの自然を観察してみましょう。



自然博物館の北東側には、長さ約1kmにも及ぶ『大町自然観察園』が隣接しています。観察園は、台地に谷が深く入り込んだ「谷津」になっています。かつては、湧水が豊富なため、水田として利用されていました。その後水田が放棄され、さまざまな湿生植物がはえるようになりました。そして

さまざまな昆虫や野鳥や水にすむ生き物たちのすみかとなりました。観察園は、谷津の湿地と斜面林に生きる動植物の姿をありのままに残した、自然のフィールドなのです。

博物館では、観察園の動植物の観察にもとづいて、皆様に四季折々の情報をお伝えしていきたいと思っています。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

出版物紹介

博物館では、さまざまな出版物を通じて、市川の自然を紹介していきます。ここでは、博物館で販売する出版物を紹介します。

◎常設展示解説書 『市川の自然』
常設展示『市川の自然』の内容について、写真や図を中心に解説しました。市川の自然のガイドブックとしても楽しめます。

◎特別展示資料 『市川の植物』
開館記念特別展示『市川の植物』の参考資料として、今まで市川市で記録された約950種の植物についてまとめた目録です。

◎絵はがき『市川の自然』シリーズ(5種類)
市川で観察できるトビハゼ、アシハラガニ、ツバメ、オオケタデ、クサボケが、カラー絵はがきで登場。季節の便り等にぜひご利用下さい。

***** 利用案内 *****



●開館時間

・午前9時30分～午後4時30分
(入館は午後4時まで)

●休館日

・毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)
・年末年始(12月28日～1月4日)

●交通

・JR本八幡駅から
*京成バス『動植物園』行き終点下車。
*京成バス『大町』行き「駒形」下車、
徒歩10分。
※どちらのバスも、京成線「京成八幡」駅、
JR武蔵野線「市川大野」駅に停車します。

こんな 行事 をしています

自然博物館では、毎年夏休み中の行事として「標本のつくり方教室」と「名前をしらべる会」を開催しています。

「標本」のほうは、小・中学生を対象に植物・昆虫・貝の標本の正しいつくり方を学習するもので、今年は7月21日、22日、23日の3日間行い、計39名の参加者がありました。

「名前」のほうは、夏休みに作った標本の名前がわからない時に専門の先生が名前を教えてくれるもので、どなたでも自由に参加することができます。今年は8月25日、26日、27日の3日間、自然博物館、図書館、行徳公民館を会場に行い、計250名の参加者がありました。

今後さまざまな行事を開催していきます。皆様のご参加をお待ちしています。

次号は12月1日発行

●博物館だよりは隔月発行です。

次号からは、「市川自然探検」等の新しいコーナーが始まります。ご期待ください。

●おたよりを募集しています。

身近な自然の情報や、質問・疑問など、楽しいおたよりをお待ちしています。

●気軽に声をおかけください。

博物館には、植物・昆虫・鳥・貝・岩石の専門の学芸員がいます。いつでも相談にお越しく下さい。

編集・発行／自然博物館開館準備室
〒272 千葉県市川市大町 284番地
☎ 0473 (39) 0477

発行日／平成元年10月1日
市立市川自然博物館だより
第1巻 1号 (1号)